

神足小学校 6年生 平和学習
児童の感想まとめ（一部抜粋・原文まま）

○今日の授業を受けた感想

- ・戦争が終わったら、心も体も傷が癒えるなどといったことはなくて、戦争を経験したことによって心には深い傷が残るし、枯れ葉剤のせいで、戦後産まれてきた子供の体が、普通の人とは違ったり、そういった戦争が終わった後も苦しい思いをしている人がいるということもふまえて、これから戦争はしてはいけないと思いました。
- ・戦争はただ人を傷つけるだけだからこの学習をしてぜったいにやってほしくないと思いました。
- ・平和学習では、戦争の悲惨さなどがわかったと思います。私たちは戦争に行くため 戦争をするために生まれたわけではありません。幸せになるために自分だけの人生を歩むために生まれてきたのに多くの人が自分の人生を歩めなかったことを知りました。
- ・この平和学習をとおして分かったことは、日本から戦争を仕かけているということがびっくりしました。戦争をする意味もわからないし、亡くなった兵士さんの家族も悲しかっただろうと思いました。
- ・日本からそんな戦争をしにかけていたなんて信じられませんでした。
- ・家族の誰かが戦争でいなくなったりおとうさんとかが戦争に行かれたらどんなに死なないかとか不安で怖くなっているとわかりました。自分がそっちの立場になると怖すぎてもうどうなっているのかわかりません。いま安全に生きられているのが感謝しています。
- ・神足空しゅうや戦争について学びましたが今まで神足空しゅうというものを聞いたことがありませんでした。もし戦争がなが引いていたら京都もぎせいになっていたかもしれないと考えるとぞっとしました。
- ・平和学習では神足でも空襲があったりアジア・太平洋戦争について、よくしれました。この戦争は日本が原因だとしり なんでこんなことをするのだろうかとか戦争などやってはいけないとか平和がどれだけ大切かより学べました。
- ・戦争の残酷さをしれたと思います。中国に勝って喜んでいる裏では市民には知らされていない事実があったことを知りました。なんで自分の国の欲のためにこんなことをするのかなぜなのか疑問に思いました。
- ・人間魚雷の「回天」は 2 年前くらいから知っていて、回天に人が乗っていて、人だけでなく爆弾も入っているので生きては帰れないという風に教わっていたそうです。多くの若い人たちの命を奪ってまで、戦争を続けるのは絶対にあってはいけないことなので、2 度と戦争がないようにして欲しいと思います。

○長岡京市でおこった神足空襲についてどう思いましたか。

- ・とてもこわいな。と思いました。とつぜんと言うのも、またこわいげん因だと思ったし、こうげきされた家などをそうぞうすると少し悲しい気持ちになりました。この攻げきのせいで、上場で働いていてがんばっていた 1 人の人の命がうしなわれていて、他にも数人がけがをしてしまった。そのような事を考えると戦争をなぜやめないのか、命をなんだと思っているのかをそのとうじの人はどのように思っていたのかを知りたいと思いました。
- ・死者は 1 人だとしても、その「1 人」が大切だから、悲さんだと思った。とっても悲しそうで苦しそうで、しかたがなかった。
- ・妹の話を聞いて、同情し、なみだが出てきそうになりました。
- ・生きたかったのに生きれなかったということにすごく悲しみを感しました。
- ・私たちのくらしているちいきに空しゅうがきたと考えるとすごくこわいと思いました。
- ・そこまで大きばにはならなかったけどあってはいけないことだと思いました。日本の悪いところもあるけれど、1 人のぎせいが出たことには変わりないから、もっと平和について長岡京市でも広めたいです。もう終わったことだからって言って、神足空しゅうについて知ろうとしない人もいるけれど、自分たちが住んでいるところだし、空しゅうや平和について知ったほうがいいと思いました。
- ・戦争がおきたらいつ、どこでこうげきされたり、ころされたりするかもわからなくて、今の日本はとても平和で多くの人がそれが「あたりまえ」になっているけれど、それがいつこわされるかもわからなくて改めて「戦争」について知ることができました。

- ・長岡京駅の下の通路を通るとおくに少し大きいえんとつがあるのを見たことがあってそれも関係あるのかなあーと思いました。一人の女性がなくなってたくさんの人が負傷したのになぜ私たちは今まで知らなかったのだろうと思いました。
- ・長岡京市でも空襲があり亡くなった人がいて戦争のざんこくさをしました。
- ・戦争でかつために労働させられついには敵の攻めきでしんだりして市民にひどいことをしているのは てきもそうだけど自分の国もそうなんじゃないかと思いました。

○平和な世界になるために、あなたはどんなことができると思いますか。

- ・ほかにも平和についてみじかな人につたえたりもできることのひとつだと思います。まだできることは少ないけれど、がんばってふやしていきたいと思いました。
- ・自分以外の人に、戦争のおそろしさや、戦争は何もうみださないことなど、語りつぐことができると思います。
- ・今、おきていることを、よく知る。
- ・世界中の人たちが平和に暮らせるように戦争をしないことがとても大事だと思いました。
- ・戦争に関することは絶対にやらないということです。一人でも多く戦争に関することをしなかったら、いろんな国で信らい関係ができると思ったから。
- ・人を助ける仕事をしたり、戦争のことを知ったりすることができると思います。
- ・平和な世界にするには戦争のためのへいきを作らないようにしたり世界の人たちが安心してくらせるような環境を作る。
- ・戦争に反対している人にとう票する。
- ・他の国とも仲良く平等にするのが大切だと思いました。
- ・「人」人が平和について考えて平和になるようにどんなことを心がけるとかをやったらいいと思います。心がけることだけではなく、ぎもんをかいつするまでもできたら、平和に近づいていくと思いました。
- ・いろいろなせんそうについてしること
- ・普段から自分が平和に暮らせていることに感謝して生きていきたいです。
- ・みじかなけんかをなくしていく
- ・みんなが笑顔になれるようなコミュニケーションや関わりを深くしていけばいいと思いました。
- ・内戦などで苦しむ人々にば金をしたいと思いました。
- ・仲間を大切に差別のない世界が良いと思います。
- ・日本だけでなくすべての国も、「二度と戦争をしない」とちかう。